

# MORIOKA YMCA NEWS

## 盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、こども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. こどもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。



編集発行人：濱塚有史 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1

TEL 019(623)1575 e-mail: morioka@ymcajapan.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>

## 2008年3月号



君でいいんだよ。

盛岡YMCA 所長 濱塚有史

地球温暖化の影響が今年県内に飛来した白鳥の数は、過去最多だと言う。先日、北上市の大堤に黒鳥が飛来したニュースを新聞で読んだ。本来はオーストラリアに生息する鳥で漆黒の羽に真っ赤なくちばし、あたりが白鳥ばかりなので余計目立つ。当の黒鳥にして見れば「なんで僕だけ真っ黒なのだろう?」「周りの鳥たちは僕のことをどう思っているのだろう?」「みんなと同じようになりたい。!」などとさぞかし、当惑したり、落ち込んだりしているに違いない。

人間だったらなおさらだ。最近KY(空気が読めない)ことが若者や子どもたちの間では、非常に恥ずかしいことらしい。みんなと同じ感情、価値基準を持つことで人間は、安心するし、そうでない者は疎外しようとする。それを私たちは経験上、知っているからこそ皆と同じでないことをことさら恐れるのだと思う。そして、今回飛来した黒鳥のように[変えたくとも変えること

のできない現実]に直面した時、人間は、心に大きな絶望感を抱くことになる。これは大人だろうと子どもだろうと変わりはないと思う。

しかし、考えてみれば、この世に誰一人として同じ人間は、存在しない。YMCAに集うリーダー達にしても、怒りっぽい奴、大人しい奴、神経質な奴、無頓着な奴、様々なキャラクターを持った若者が集まっている。まるで、「これだけで1日充分」とCMしているミックス野菜ジュースみたいだ。

何年前か、YMCAのキャッチフレーズを全国規模で募集したことがあった。その時、岩手大学の学生だったリーダーが「YMCAってやっぱりこれっすよね。」と言って応募したのが冒頭の言葉だ。残念ながら入選は逃したものの、それ依頼、ずっとこの言葉が胸に引っかかっている。

いつか、黒鳥にあったら言ってやろう。「おーい。お前はお前でいいんだよ。」

# 白銀は招く！～YMCAのスキープログラム～

盛岡YMCAでは、毎年、スキーを通して自然の恵みを感じ、健康や自己の体力に自信をつけること、良き友人を見だし、友情を深めることを目的にスキーのプログラムを実施しています。YMCAのスキープログラムは、単なる技術指導や上達のみにとらわれるのではなく、人間成長の場としてプログラムを展開しています。今年度も以下の6つのスキープログラムを実施し、白銀のグレンデで子どもたち、リーダーが自然とスキーの醍醐味を満喫してきました。

エンジョイ ジュニア	12月26日 ～ 12月29日	八幡平 リゾート スキー場	参加者 58名
ニュー イヤー	1月5日 ～ 1月7日	田沢湖県営 スキー場	参加者 7名
日帰り ツアー	①1月27日 ②2月17日	岩手高原 スノーパーク	参加者 ①12名 ②15名
スィ & 雪祭り	2月23日 ～ 24日	田沢湖県営 スキー場	参加者 31名



## フットサル大会

2月10日(日)滝沢東部体育館において、フットサル大会が開催されました。当日は、37名の子どもたちが参加。リーダーや、お父さん、お母さん、サッカークラブOBの中学生たちもいりまじり、白熱した応援や試合が行われました。今回、中学生たちはリーダーとして参加してくれたのですが、小学生たちと共に試合をしたり、試合後に熱い言葉をかけたりしていました。つい何年か前までは、目の前の子どもたちと同じ様に、ひたすらにボールを追いかけていた子どもたちが、こうしてリーダーの様に参加してくれる事をとても嬉しく感じました。今回参加した子どもたちが、いつかOBとして小学生と共にサッカーを楽しむ姿を見る事ができるかなと思うと、とても楽しみです。



## ウインタースクール



今年も冬の季節、去年と変わらぬ積雪の少なさの中、ウインタースクールが行われました。内丸教会の中に外にはしゃぎまわる姿はいつ見ても楽しそうで、一緒にまざるとその楽しさが想像の何百倍にもなって実感できました。

その様な中いつも感じるのは、子ども達は常にエネルギーに満ち溢れ、そこから様々なものを生み出す力があるという事です。やりたい事が出来ない状況にあっても、遊ぶ仲間がいればすぐに違う遊びが生まれ、いつの間にかやりたかった事以上に楽しんでいるのではと感じる事も多々ありました。仲間がいれば、という事はとても大切に思われている事だと思います。仲間がいなくても楽しめる遊びが増えてきている今日では、仲間がいるだけで広がる楽しさの可能性を知る事は、とてもプラスになる事ではないかと思っています。

個人個人が、「あの子がいたから」「この子と一緒にだったから」だから楽しい時間だった、そう思える時間を大切にしつつ、ウインタースクールで出会えた皆でその想いを共有できていたのならとても嬉しく思います。



今から数十年前にYMCAという団体にメンバーとして所属していらい、今日まで様々な関わりがありました。今回は「その事を書いて！」と濱塚所長よりご依頼を受けましたので、末筆ではありますが、最後まで宜しくお願いします。

簡単に自己紹介を致します。名前は青木 健(たけし)。昭和41年1月24日に東京都八王子市で誕生いたしました。その後、小学校4年生の時に父親の転勤でアメリカに移住しました。ここからYMCAとの出会いが始まります。

小学校4年生、全く英語なんてわからない私は、アメリカのカンザス州にあるウイチタという町に住む事になりました。英語が全くわからないので、両親は悩んだのでしょ。私をスイミングスクールに通わせました。そこがYMCAでした。Yのマークがとても印象に残っていました。2ヶ月ほどで簡単な会話ができる様になり、いつの間にか英語で会話している自分がいました。小学校5年生のとき、バスケットボール、アメリカンフットボールにはまり、YMCAのチームに属する事となりました。このとき、指導してくれたのが「リーダー」だったんだと自分がリーダーになった時気付きました。

中学校1年の夏に帰国。しばらくはYMCAからも離れていました。時が流れて高校卒業目前、手紙がYMCAから送られてきました。内容は「ユースボランティアをしてみませんか？」という内容でした。何故か引かれる物があり、高校卒業と同時にYMCAの門をたたきました。そこからリーダー生活が始まりました。場所は東京、「立川YMCA」でした。今は統合され、西東京YMCAだったと思います。

1年目、「デイキャンプ」(小学生対象)という活動に参加。毎週リーダー会を重ね、日曜日に日帰りのプログラムを行っていました。そのときにつけられた名前は「おじさん」でした。夏には4泊5日のキャンプを4本と、怒涛の様な夏休みを過ごしました。まだ、若かったんですね。このキャンプラッシュの時、伊豆大島にキャンプに行きました。そこで、何故か「かばさん」という名前を襲名。以後、この名前でも活動してまいりました。

2年目には障がい児の体操プログラムにも参加するようになり、スキーも始める様になりました。

3年目には障がい児・者のプログラムをメインに活動するようになり、この頃からでしょうか、障がいを抱かれた方たちの支援をする様になろうと考えだしました。

その後も活動は続け、気がつけば8年。どうにもYMCAから離れられず・・・その時、ワイズメンズクラブを紹介され、最前線を退き、バックアップする側になりました。

2000年4月、縁あって岩手県の社会福祉法人カナンの園(一戸町奥中山)に転職、奥中山学園(児童入所施設)に手づくり感100%の物置があり、YMCAと書いてありました。いろいろ調べ、YMCAにお電話させていただきました。このとき、盛岡にワイズメンズクラブを設立に向けて話しがあるので決まったら連絡をいただけるという事でした。

しばらくしてご連絡をいただき、濱塚所長と初対面。それからは、盛岡にワイズメンズクラブを設立に向けてYMCAにも足を運ぶ様になり、リートレ等にも参加させていただきました。そして、昨年2月に無事「もいおかワイズメンズクラブ」が設立。気がつけば1年が過ぎました。

皆様ご存知の通り、YMCAは日本のみならず、全世界にあります。そこで活躍する青年達。そのパワーはおそらく計り知れない物だと思います。私がリーダーを長年やってきて、「子供たちと楽しく」だけではなく、「大人も子供も楽しく」という思いを常に持っていました。そして、お子さんがYMCAの活動に参加し、帰宅した時にそこであった事、楽しかった事などを万遍の笑顔で話している姿を見て、ご両親が「YMCAに任せてよかった。」「一度覗いてみたい。」というお考えを持っていただければという思いもプラスされました。

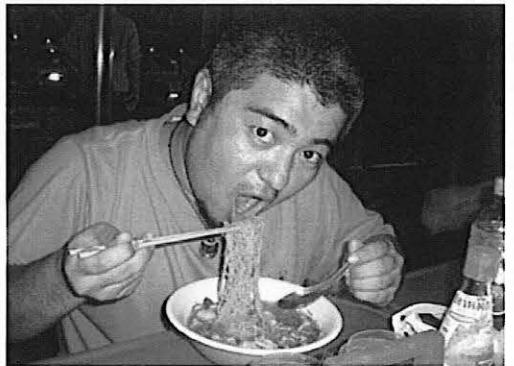
YMCAは私にとって欠かせない物だったのだと思います。私は、この4月から栃木県にて新しい職につきます。そこでもYMCAとの関わりがあると思います。恐らく、生涯『Yっ子』なんでしょうね。

今まで出会ったメンバーの皆さん、保護者の皆さん、スタッフ・リーダーの皆さん、そしてYMCAに携わる多くの皆さんにこの場をお借りして、感謝申し上げます。

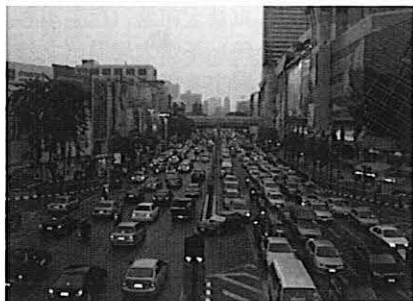
## ティラノリーダーのタイ日記(その①) 普通なこと

皆さんお久しぶりです。日本から飛行機で6時間、海の向こうタイで暮らしているティラノでこれから、YMCA Newsにティラノニュースを載せてもらえることになったので、これから毎月書きたいと思ひます。たいしたことは書けないと思ひますが、何か感じたり、思ったことを書きたいと思ひます。今回は1ヶ月暮らしたバンコクでのことを書きたいと思ひます。

もうすぐタイに来て4ヶ月が経ちます。これまで何をしていたかという、最初の1ヶ月はタイの首都バンコクでタイ語の勉強をしていました。勉強があまり好きでない僕にとって毎日3時間タイ語を勉強するのは大変なこと、毎日ギリギリまで寝て、ホテルの近くから、モーターサイ(バイクタクシー)の後ろに乗って学校に通学していました。バンコクは大都会で、ミニ東京という感じでしょうか。とにかく物、人、建物、なんでも多いんです。地下鉄、モノレールみたいな電車もあります。道路は車が多く渋滞して、車の間をモーターサイが走っています。歩道は人で同じように渋滞しています。日本の物も伊勢丹というデパートに行けば何でもあります。これだけ見ると嫌な所に見えるかもしれませんが、いい所もたくさんあります。タイ中の物が何でもあるので、おいしいものもたくさんあります。食べることが大好きなティラノにはいい街なんですね。しかもその値段がとにかく安い。大体ラーメン1杯30パーツ(日本円で90円くらい)道で売っている唐あげも10パーツ(30円くらい)。おいしいものがこんな値段で食べれるなんて、日本の暮らしから考えれば幸せですよ。でも、4ヶ月タイで暮らしてみても気づいた事はこのラーメン90円はこのタイの人たちには普通のことなんです。地方へ行くと毎日家で料理することが当たり前なので、もしかしたら高いかもしれません。日本の普通、バンコクの普通、タイの他の場所の普通。普通ってたくさんありますね。お金だけではなく、もっとたくさんの普通の世界にはもっとたくさんあるでしょう。最初は自分の国と比べて、自分の普通と比べちゃいますが、時間をかけるとその場所での普通が見えてきます。場所だけでなく、人や物、これからもじっくりと見ていきたいと思います。



大塚英彦君(ティラノリーダー)  
バンコクYMCA/パオセンター駐在ボランティアスタッフ  
岩手県立大学総合政策学部4年生。盛岡YMCAリーダー。08年10月より、横浜YMCAから派遣されタイで長期ボランティアとして活躍中。横浜YMCAは、タイ・バンコクYMCAと協働で、人身売買の危機にある少女たちやエイズ孤児の子どもたちを救うプロジェクトを行っています。パオセンターに児童保護シェルター、ナコンパトムにエイズ孤児センター・ハッピーホームを建設し日本から長期ボランティアの派遣を行っています。



# 情報コーナー

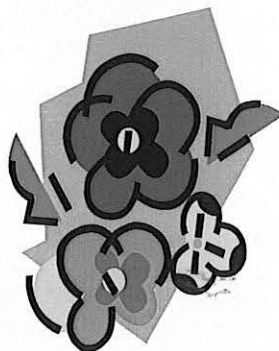
## 3月の予定

- ★3月2日(日) ムースサッカークラブ(東部体育館)
- ★3月3日(月) ムースサッカークラブ(ゆびあす)
- ★3月4日(火) バスト・キッズ(ゆびあす)
- ★3月8日(土) バスト・キッズ(東部体育館)
- ★3月10日(月) ムースサッカークラブ(ゆびあす)
- ★3月13日(木) もりおかワイズメイズクラブ3月例会(JARAN-JARAN)
- ★3月15日(土) バスト・キッズ 6年生を送る会(日本基督教団内丸教会)
- ★3月16日(日) 卒業リーダー送別会
- ★3月17日(月) バスト・キッズ(東部体育館)
- ★3月18日(火) バスト・キッズ(ゆびあす)
- 滝沢サッカー3期終了
- ★3月19日(水) 篠木サッカー3期終了
- 水泳教室3期終了
- 本町英語3期終了
- ★3月20日(木) 松園サッカー3期終了
- ★3月21日(金) バスト・キッズ(東部体育館)
- ★3月22日(土) 本町サッカー3期終了
- ★3月23日(日) バスト・キッズ(県立大学)
- ムースサッカークラブ(東部体育館)
- 日(日)～25日(火)
- アド・ハンチャー3月活动(宮城県松島自然の家)
- ★3月24日(月)～28日(金)

- スプリングスクール開講(日本基督教団内丸教会)
- ★3月24日(月) 土淵サッカー
- ★3月25日(火) 土淵サッカー補講 3期終了
- ★3月28日(金)～31日(月) バスト・キッズサッカー合宿(宮古国民休暇村)

## 4月の予定

- ★4月1日(火) 学童保育ぶらいむたいむ 新年度開講
- ★4月7日(月) 土淵サッカー1期開講
- ★4月8日(火) 滝沢サッカー1期開講
- ★4月9日(水) 篠木サッカー1期開講
- 本町英語1期開講
- 水泳教室1期開講
- ★4月10日(木) 松園サッカー1期開講
- もりおかワイズメイズクラブ4月例会(JARAN-JARAN)
- ★4月12日(月) 本町サッカー1期開講
- ★4月27日(日) アド・ハンチャークラブ4月活动



## リーダー お勧めの本① 獅童リーダー



「おいしいのぼうけん」  
 作：ふるたたるひ  
 絵：たばたせいいち  
 出版社：童心社  
 発行年：1980年



みなさんこんにちは。今回僕が紹介するオススメの本は「おいしいのぼうけん」です。

おおまかなあらすじとしては、舞台はある保育園でこの保育園には悪いことをすると入れられてしまうという、おいしいと先生の人形劇に出てくるねずみばあさんという2つの怖いものがあります。ある日のお昼寝の時間ミニカーの取り合いをしていたあきらとさとし。先生のいうことも聞かずに他の子の手を踏んだり、足を蹴飛ばしたり。そんな2人はおいしいに入れられるのですが、謝りたくない2人は我慢しておいしいの中にいます。そんな2人の前に現れたのは怖いあのねずみばあさん。ねずみばあさんの恐怖に打ち勝つためにあきらとさとしは手をつなぎあいねずみばあさんから逃げていきます。もうどうしようもないと思ったそのときに助けてくれたものは・・・そしてその後見えてきた景色とは？

この日から保育園には2つの楽しいものが出来ました。それは読んでのお楽しみ！！

ということで、おおまかではありますが「おいしいのぼうけん」を紹介しました。この本は僕が保育園にいた頃に読んだのですが、今なお覚えているのはこの本を読んでからは、おいしいでお昼寝をするのがすごく流行ったということです。おいしいに寝ていればとっても楽しいことが待っていて、友達と一緒に寝るとさらに楽しさが増すのではないかなと思っていました。真っ暗なおいしいでも大好きな友達と一緒になら、とっても楽しい空間になるのでしょうね。

この本を最近読み返して思ったのですが、あきらくんとさとしくんが体験したことは2人の豊かな想像力も関係していて、2人だからこ乗り越えられたのかなとも思います。皆さんは、何かわくわくするような想像をしていますか？そして何があってもへっちゃらだ！というくらいの友達を大切にしてくださいね。何歳になってもわくわく出来ることはすごく大切だし、友達はいつまでたっても友達ですからね。

みなさんもぜひ自分のお気に入りの本が見つかってくれたらうれしいと思います。それではまた会いましょう(^ ^)／

(文責：岩手県立大学3年 浅沼慧)

- 感謝 (2007年4月から2月)  
 順不同・敬称略
- 維持会員  
 菊池弘生、大関靖二、長谷川精一、鶴丹谷三千代、金田一世美子、菊池崇江、井上修三、井上優子、井上浩太郎、及川忠人、三田勝彦、濱塚秋二、濱塚れい子、長岡正彦、角谷晋次、角谷千代子、盛岡チャペル、越前谷洋子、重石桂司、花松行雄、伊藤克美、一戸貞文、清水弘一、金野東輝子、岩崎スエ、伊藤真一郎、伊藤眞史郎、工藤直子、北田アユ子、田村治
  - 寄付金  
 石渡隆司、濱塚秋二、濱塚れい子、盛岡チャペル、菊池弘生、三田勝彦、越前谷洋子、伊藤克見、清水弘一、北田アユ子、北田二郎
  - 盛岡 Y M C A の維持会員として Y M C A の諸活動をお支え下さい。  
 申し込み方法は、Y M C A にお問い合わせ下さい。
- TEL 019-623-1575

### ～表紙の写真から～



東竜太郎君(仁王小6年) 茶畑大地君(北松園小4年)。本町サッカー教室1月の活動の一コマ。その日は快晴で、校庭一面の雪が反射して眩しくて目も開けられないくらい。子どもたちの笑顔も負けないくらい眩しかった(濱)